



<Vol. 113 の記事>

お知らせ **総会の結果報告**

連載 **フレイバック20年⑩ ユニフォームの変遷**

2010 年度総会が終了しました

2009年度事業と決算が承認されました

6月6日（日）午前10時から、クラブ事務所において2010年度年次総会が開催されました。

昨年度の事業成果と決算報告、今年度の事業計画と予算案が審議され、いずれも承認されました。

昨年度は、当初予算で単年度マイナス決算を見込んでいましたが、県や文部科学省の委託事業を受け収入が増えたことや、事務局の節約が功を奏し、赤字を出さずに済みました。

しかし、フィットネスのインストラクターの大量離脱による影響は小さくなく、会員の皆さんに迷惑がかかるとともに、収支的にも大きな影響が出てしまいました。

(千円)

	2009 年度		参考 2008 年度
	予算	決算	
収入	45,156	52,231	47,345
支出	46,071	51,936	43,520
収支	-915	294	3,824

2010年度は、立て直しの年になります

2010年度の予算は20周年事業などもあることから、若干の赤字はやむなしとの判断で収入43,925千円に対し、支出45,183千円の予算案を組みました。

急激な収入の回復と急激な支出の抑制は難しいので、2～3年間かけて、徐々に収支のバランスが均衡するようにしていくようにすることを確認しました。

また、昨年度の総会で指摘のあった、繰越金(約750万)の扱いについては、今年度検討する「ネクスト10」の中で位置づけていくことも確認しました。

専用で使えるグラウンドやテニスコートを持ち、もっと多くの仲間とスポーツを楽しむために・・・など、有効な使い道を考えていくこととなります。

過去の総会資料は、ホームページで公開しています。メニューの「クラブデータ」から探してください。今年度の資料は、所轄官庁への報告等を終え、議事録の確認などが得られてからの掲載となります。

20周年記念事業について

クラブ設立20周年を記念して、今年度はいくつかの特別事業を行っていくこととなりました。詳細は、順次お知らせしていきますが、主に、次のような事業を行っていく予定です。どうぞお楽しみにしてください。

交流大会 ～ テニス、サッカー ～

クラブのプログラムに参加している皆さんが参加できる大会を、サッカー、テニスのそれぞれで開催します。テニスは9月26日、サッカーは7月17日と12月頃の2回を予定しています。

記念シンポジウムと記念パーティ

「スポーツと地域」をテーマに、10月初旬にシンポジウムを開催します。サッカー協会犬飼会長、清水市長に参加をお願いしています(調整中)。

お二人の熱い想いをお話いただきながら、参加者の皆さんと一緒にスポーツと地域について考えていきたいと思えます。

シンポジウム終了後には、クラブメンバーはもちろん、これまでクラブに関わってくださった様々な方にお越し頂き、パーティを開催します。

記念誌

クラブの歴史や、クラブに参加している皆さんの夢をつづった記念誌を作成します。現在、参加されている会員の方からも、たくさんの声をいただきたいと想います。



埼玉に集まろう！

日時 7月17日(土) 12時半集合！
場所 埼玉 第3グラウンド

浦スポの仲間で親善ゲーム大会を行います。広場に参加しているみんなも、お父さんを誘って一緒に来てね！

● 自らの首を絞めているスポーツ界

相撲界に続き、野球の関西独立リーグでも野球とばくに関与していた選手がいることが報道されました。

“かけごと”の何がいけないの？ サッカーくじ (toto) や競馬は“かけごと”じゃないの？ と子ども達から聞かれそうです。どれも“かけごと”です。

“かけごと”が私的に行われると、もめ事になったり、特定の団体の資金源になったりすることがあります。今回が、まさにそうです。このため、「とばく」は、法律で厳しく規制されています。

子どもたちの憧れでもあるプロスポーツ選手や、これに近いトップスポーツの選手（力士を選手というのは抵抗があるかもしれませんが）が、このような違法行為を行ってしまうことで、相撲界や野球界のみならず、スポーツ界全体のイメージが大きくダウンすることが懸念されます。

イメージダウンは、優秀なスポーツ選手が集まらなくなる原因ともなり、さらにスポーツの魅力が失われていくことにつながりかねません。

近年、トップ選手のセカンドキャリア（引退後の職業）の確保が課題であると言われ、地域スポーツの振興が、彼ら・彼女らの活躍の場を増やすことにつながると言われていますが、スポーツのイメージダウンは、そういった活躍の場を狭めることにもつながりかねません。（イメージダウンにより、スポーツを続ける人が確実に減ってしまうでしょうから）

以前、ニュースで書きましたが、“スポーツは良い子を育てる”とか“サッカーは子どもを紳士にする”などといった謳い文句は、いったいどうなっているのでしょうか。

育成システムの整備や、科学的トレーニング方法の研究が進み、以前より恵まれた環境になっていると思います。一方でスポーツ選手の精神的な自立や倫理観の醸成という点では、進んでいない・・・というより、減退したと言える状態なのではないでしょうか。

「とばく」の話と子どもたちのスポーツ環境・・・つなげて考えるのは極論だというご意見もあると思います。スポーツの問題ではなく、家庭や社会の問題でもあります。

しかし、トップ選手の「おごり」「慢心」が生んだものだとすれば、スポーツの発展を阻害するこのような出来事に、しっかりと対応していくことが、スポーツに関わっていく者として必要なのではないのでしょうか。

水分補給講習会のお知らせ

サッカー広場では、大塚製薬さんのご協力により、7月5日（月）と8日（木）に小学生向けに水分補給講習会を開催します。保護者の方も参加できます。参加された方には、記念品をプレゼント！ 熱中症を防ぎ、良い力を出すために ぜひご参加を！



● 生涯公式戦初参加は、白黒ストライプ

プレイバック浦スポ⑩では、サッカーの部のユニフォームについて、ユースと生涯コースを中心に振り返ってみました。

生涯コースは、1997年に初めて公式戦に参加（秋の市民大会）しました。

この時に来ていたのは、アディダスの白黒ストライプ。サブは、青白のストライプでしたが、遠目には区別がつかづら・・・と少々難もありました。



上記のユニフォームは1995年から使っていたのですが、デザインが変わり同じ物が入手できなくなり、新たな会員が増えたこともあり、1998年にプーマの白のユニフォームをつくりました。ワールドカップでストイチコフが活躍したブルガリアモデル（写真左端）です。



生涯コースは2001年の「けやきリーグ」参戦を機に、プーマの緑をそろえました（写真中左）。この時から、選手コースとあわせてクラブで統一する話ができました。

その後、2004年には、新会員につでも対応できるようにオリジナルユニフォームを作成することとなり、現在のディアドラ社の水色・黒・水色となりました。また、サブユニフォームもディアドラの白・白・白に変更しました。

この時から、U15からシニアまで同じデザインのユニフォームを着用することとなりました。

● ユースはアンブロ・アドミラル・ディアドラ

レッズと運営分離した1996年からしばらくはアンブロでした。その後、2000年のU18の活動再開にむけて先にユニを用意する必要が生じ、アドミラル社のオリジナルを作成しました。写真の赤・黒・赤と、緑・緑・緑でした。

2003年の秋の新人戦（浦和市民大会 3位になりました！）から、現在のユニに替わりました。



2010年度も、浦和スポーツクラブでは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。